



平成29年5月19日  
港湾局計画課

北海道6港湾が連携し、農水産物の輸出促進に向けた港湾施設の整備を促進  
～農水産物輸出促進計画の第1号認定書授与式を開催～

国土交通省港湾局では、農水産物の輸出促進に向けた屋根付き岸壁や冷凍・冷蔵コンテナの電源供給設備の整備に対する支援制度を平成29年度予算において創設しました。今般、北海道6港湾の港湾管理者より、本支援制度を活用するため、行動計画(農水産物輸出促進計画)の申請があり、国土交通省港湾局長が全国で初めて認定をすることとし、認定書授与式を5月23日(火)に行います。

港湾局では、港湾管理者が策定した農水産物の輸出を促進するための行動計画(農水産物輸出促進計画)を国土交通省が認定した場合に、屋根付き岸壁や冷凍・冷蔵コンテナの電源供給設備の整備に対して支援を行う制度を平成29年度予算において、創設しました(別紙1参照)。本制度を活用し、屋根付き岸壁や冷凍・冷蔵コンテナの電源供給設備の整備を通じて、我が国で生産される農水産物の輸出競争力の強化を推進するとともに、品質確保を通じて商品の価値の向上を図ることにより、2019年の農林水産物・食品の輸出額1兆円政府目標の達成に向けて取り組みを進めて参ります。

今般、北海道6港湾(苫小牧港、石狩湾新港、紋別港、根室港、枝幸港及び増毛港)の港湾管理者より連名で行動計画(農水産物輸出促進計画)の申請がありました(別紙2参照)。本計画では、平成37年度を目標年度として、北海道における農水産物の輸出を促進するため、6港湾の連携強化を図りつつ、輸出促進に必要な港湾施設の整備を戦略的に取り組むことに加えて、本計画の着実な推進を図るための体制についても盛り込まれております。

港湾局では、本計画を全国で初めて認定をすることとし、下記のとおり認定書授与式を行います。

記

(1)日 時 平成29年5月23日(火) 15時00分～15時20分  
(2)会 場 国土交通省(中央合同庁舎3号館)8階 港湾局長室

※当日は、撮影が可能です。撮影を希望される報道関係者は別紙3「申込用紙」に必要事項を記入の上、5月23日(火)12時までにFAXでお申し込みください。  
当日は14時45分までに中央合同庁舎3号館8階エレベーターホールにお集まりください。

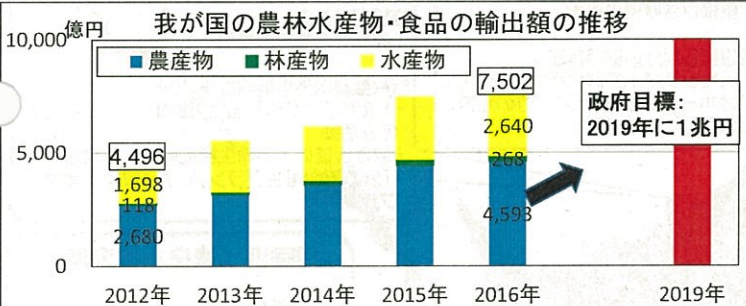
【お問い合わせ先】

国土交通省 港湾局 計画課 木村 須山  
(代表) 03-5253-8111 (内線) 46-322 46-324  
(直通) 03-5253-8668 (FAX) 03-5253-1650

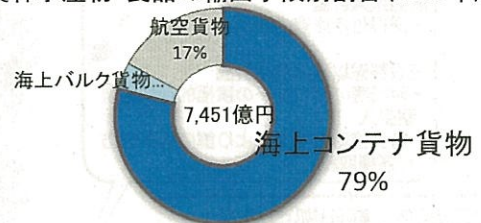
農水産物輸出促進基盤整備事業

別紙1

○新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、農水産物の輸出に戦略的に取り組む港湾において、農水産物の輸出促進に資する港湾施設の整備を支援。



農林水産物・食品の輸出手段別割合(2015年)



輸出される農林水産物・食品の8割は海上コンテナを利用

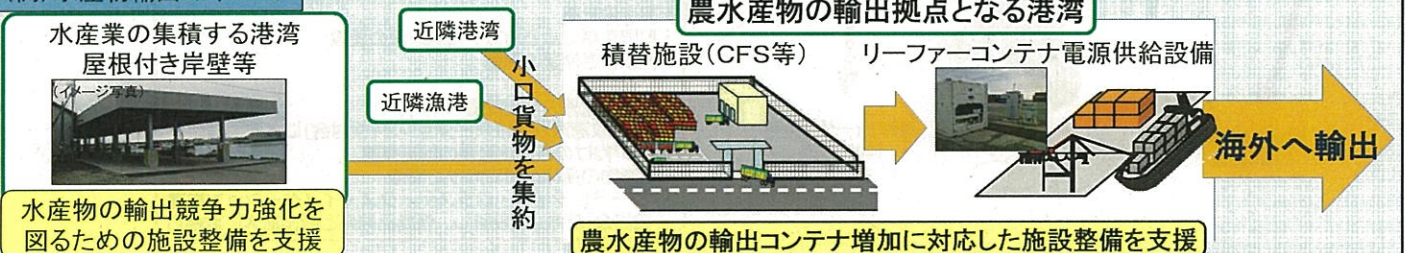
出典: 農林水産省資料、貿易統計、H25全国輸出入コンテナ貨物流動調査に基づき国土交通省港湾局作成

制度概要

■港湾管理者が農水産物の輸出促進のための行動計画を策定し、国土交通省が認定した場合に以下の基盤整備を支援

- ・ 輸出拠点となる港湾における小口貨物積替円滑化支援施設やリーファーコンテナ蔵置時の電源供給設備の整備
- ・ 水産業の集積する港湾における水産物の輸出競争力強化を図るために実施する屋根付き岸壁等の整備

(例)水産物輸出のイメージ



# 農水産物輸出促進計画(北海道)の概要①

別紙2-1

## 輸出促進計画の概要

**屋根付き岸壁の整備**

連携水揚港湾  
紋別港・根室港・増毛港・枝幸港・苫小牧港



連携水揚港湾における屋根付き岸壁整備により、商品価値を向上させ、輸出競争力を強化

農産品

輸出販路拡大

魚価UP

ブランド力UP

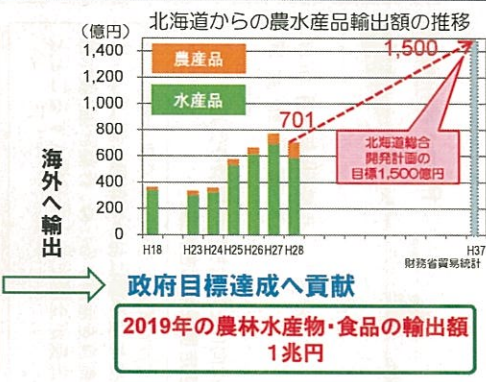
輸出拠点港へ集約

**輸出環境の改善**

輸出拠点港湾  
石狩湾新港・苫小牧港



増加する道産農水産物の輸出需要に対応するため、輸出拠点港湾において小口積替円滑化支援施設やリーファーコンテナ電源供給装置を整備し、輸出環境を改善



## 本計画の対象とする農水産物

水産品	ほたて、さけ、さんま、たら など	農産品	米、野菜、果物、製造食品 など
-----	------------------	-----	-----------------

## 本計画の目標

輸出拠点港湾における目標値

北海道総合開発計画による道産食品輸出額の目標算定方法に準じて設定

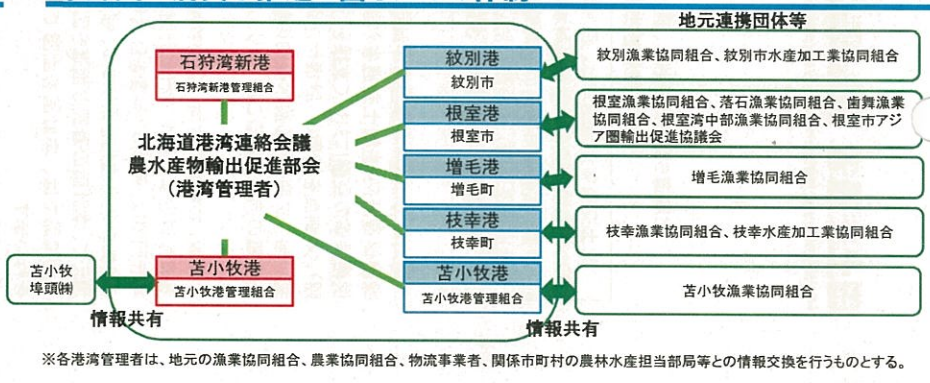
目標輸出額

輸出拠点港湾	H26実績値	H37目標値
石狩湾新港	95億円	197億円
苫小牧港	329億円	707億円

連携水揚港湾における目標

- 輸出対象魚種の魚価について、過去10年平均の魚価以上となることを目指す。
- 輸出対象魚種の輸出量について、増加を目指す。

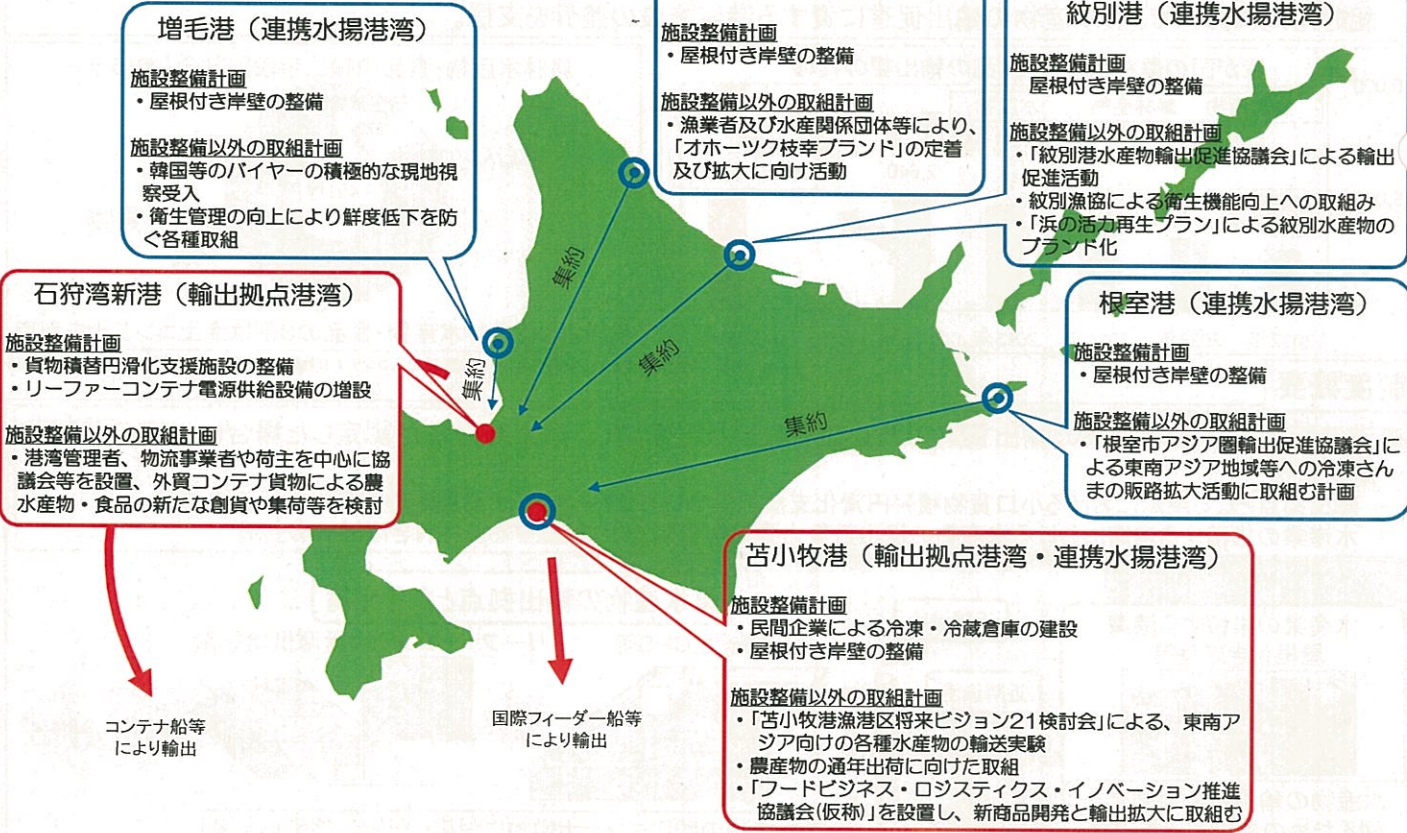
## 本計画の着実な推進を図るための体制



# 農水産物輸出促進計画(北海道)の概要②

別紙2-2

## 本計画における各港の計画



**増毛港 (連携水揚港湾)**

施設整備計画

- 屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- 韓国等のバイヤーの積極的な現地視察受入
- 衛生管理の向上により鮮度低下を防ぐ各種取組

**石狩湾新港 (輸出拠点港湾)**

施設整備計画

- 貨物積替円滑化支援施設の整備
- リーファーコンテナ電源供給設備の増設

施設整備以外の取組計画

- 港湾管理者、物流事業者や荷主を中心に協議会等を設置、外資コンテナ貨物による農水産物・食品の新たな創貨や集荷等を検討

**枝幸港 (連携水揚港湾)**

施設整備計画

- 屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- 漁業者及び水産関係団体等により、「オホーツク枝幸ブランド」の定着及び拡大に向け活動

**紋別港 (連携水揚港湾)**

施設整備計画

- 屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- 「紋別港水産物輸出促進協議会」による輸出促進活動
- 紋別漁協による衛生機能向上への取組み
- 「浜の活力再生プラン」による紋別水産物のブランド化

**根室港 (連携水揚港湾)**

施設整備計画

- 屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- 「根室市アジア圏輸出促進協議会」による東南アジア地域等への冷凍さんまの販路拡大活動に取組む計画

**苫小牧港 (輸出拠点港湾・連携水揚港湾)**

施設整備計画

- 民間企業による冷凍・冷蔵倉庫の建設
- 屋根付き岸壁の整備

施設整備以外の取組計画

- 「苫小牧港漁港区将来ビジョン21検討会」による、東南アジア向けの各種水産物の輸送実験
- 農産物の通年出荷に向けた取組
- 「フードビジネス・ロジスティクス・イノベーション推進協議会(仮称)」を設置し、新商品開発と輸出拡大に取組む

コンテナ船等により輸出

国際フィーダー船等により輸出